

令和 7 年度行政評価《施策評価調書》

テーマ	6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）		
施策	4 国際交流		
所管部	総務部	関係部	産業港湾部・生活環境部・教育部

Ⅰ 施策の概要と実施状況

施策の 目的	海外との交流が活発で、多様な文化とふれあえる、国際性豊かなまちを目指します。
-------------------	---

市民アンケート指標の推移										
国際交流に関心がある市民の割合							基準値(R1)		目標値(R10)	
							29.3%		基準値より増	
実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	29.3%	-	29.3%	-	27.4%	-	46.4%			

[illegible]

[illegible]

II 各部評価（各部による自己評価）

施策の進捗

- ・ダニーデン市及び江西区との交流はコロナ禍から回復し、派遣事業等を実施。ナホトカ市とはウクライナ侵攻により再開できていない。
- ・指標「通訳ボランティアの登録者数」増加は、クルーズ船対応の活動機会が継続的にあることによるものと考えられる。
- ・指標「在住外国人の日本語教室受講者数」増加は、外国人住民数の増加や日本語教室の開催拡大（土曜日）等によるものと考えられる。
- ・多言語対応が必要となる窓口等に外国語翻訳機を10台設置し、必要に応じて多言語対応を行っている。

効果の発現状況

- ・姉妹都市交流における青少年交流では、ホームステイ受入家庭及び交流団派遣団員へのアンケート結果は、ともに好評である。
- ・クルーズ船対応の通訳ボランティアの参加申込みは多く、市民の国際交流参加に寄与していると考ええる。
- ・日本語教室の土曜日開催（実施拡大）は、平日に参加できない外国人への学習機会の提供に効果的であった。

構成事業の妥当性

- ・国際交流（小施策(1)～(2)）の構成はおおむね妥当と考えており、事業の性質上、継続した取組が必要と考える。
- ・ホストファミリー体験やオンライン交流などアンケート調査結果では、参加者の満足度は高く、引き続き参加者の意向を確認しながら、姉妹都市提携委員会交付金を通じた姉妹都市交流の取組を継続する必要があると考える。
- ・市内の外国人住民数は増加しており、生活サポートのための日本語教室や日本文化体験会、翻訳機などを利用した窓口等での多言語対応の継続した実施が必要であると考ええる。

その他（必要に応じて記載）

今後の施策改善の方向性

- ・「姉妹都市等との交流」については、ダニーデン市、ソウル特別市江西区との交流は、関係団体と協力しながら継続して実施し、ナホトカ市との交流は、国際情勢の変化により今後の対応を考えていく。
- ・通訳ボランティアについては、引き続きクルーズ船や姉妹都市交流などでの参加機会を提供する。
- ・「外国人が暮らしやすい環境づくり」については、ボランティア団体と協力して日本語教室、日本文化体験会を継続して実施する。
- ・窓口等には外国語翻訳機を設置するとともに、必要に応じて出入国管理庁の通訳サービスを利用して、多言語対応を継続して実施する。
- ・外国人住民への対応については、今後も増加することが見込まれることから、相談や交流も含め、庁内の一元的な実施体制のあり方検討が必要と考えられる。

III 二役フィードバック

各部評価に対する意見等